

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 7th Sense 彩都駅前

保護者等数(児童数) 11名 回収数 11 割合 64.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	10	1	0	0		今後もお子様の様子・状況、支援内容等の活動に合わせてスペースを十分とるよう努めてまいります。また、お子様の特性やその日の取り組みに合わせて教室の選択をするよう努めてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	10	1	0	0		専門職員からの研修等、皆さまに還元していけるよう努力してまいります。また皆さまに専門性がよくわかるよう発信してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	0	0	0		手すりはございませんが、ステップフリー・多機能トイレ・施設内はバリアフリーとなっております。何かお気づきの点ありましたら、お知らせください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	1	0	0		今後も清掃等細かい所にも目を配りきれていないようで申し訳ございません。清掃を含む環境整備をこころがけ快適な空間を作ってまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	10	1	0	0		施設での様子だけでなく、家庭・園等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成してまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	1	0	0		教室全体で情報共有をしっかりとし、お子様に必要な支援項目を設定し、具体的でわかりやすい支援内容の設定に努めてまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	1	0	0		口頭および報告書も活用し、モニタリングを丁寧に行い、説明もわかりやすく行ってまいります。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	10	0	0	1		わかりにくい点があるようで申し訳ございません。皆で再度見直し、お子様の状況に合わせて様々なプログラムを提供できるように取り組んでまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	0	3	1		現在、園の子どもたち等との交流の機会はありませんが、参観やカンファレンス等、柔軟に対応したいと考えております。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	11	0	0	0		わかりやすく説明できるよう今後も努めてまいります。またわかりにくい時はご質問していただけるようご対応してまいります。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	11	0	0	0		わかりやすく説明できるよう今後も努めてまいります。またわかりにくい時はご質問していただけるようご対応してまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	7	1	1	2		現在特にペアレント・トレーニングは実施していませんが、導入の計画はございます。 現段階ではレッスンの振り返りの際、家庭での支援の方法についてもお伝えする形で支援をしております。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	0	0	0		今後も普段からお子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	9	0	1	1	通所してもうすぐ一年ですが、面談がないので支援のすり合わせがないのが不安です	きちんと面談をしておらず申し訳ございません。今後はそのようなことがないようにまいります。またいつでもお声かけいただけるような環境づくりにも今後も努力してまいります。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	2	5	3		現在、交流会は設けておりませんが、開催できるよう考えています。保護者の方へ必要な情報を個々に提供できるよう努めてまいります。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	7	0	0	4		相談や申し入れについての周知がわかりづらく申し訳ございません。体制は整えておりますが、今後は皆さまにわかるよう周知してまいります。またレッスン時を含めていつでも職員にお声かけください。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	11	0	0	0		今後も意思の疎通や情報伝達のための配慮をしております。
	18 個人情報の取扱いに十分注意されている	11	0	0	0		職員一同、個人情報の取扱いには十分に気をつけてまいります。
非常時 等の 対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	11	0	0	0		周知徹底ができておらず申し訳ございません。職員による避難計画等を定期的実施しております。お子さんを含めた避難訓練も実施してまいります。
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	5	1	0	4		周知ができておらず、申し訳ございません。職員による避難計画等を定期的実施しております。お子さんを含めた避難訓練も実施してまいります。
満足 度	21 子どもは通所を楽しみにしている	11	0	0	0		楽しく通所していただきありがとうございます。
	22 事業所の支援に満足している	11	0	0	0		支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	スペースの広さだけでなく、訓練室の構造も考え、子どもに合わせて使用できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	適切に配置しております。今後は年齢層をより広く配置できればと思っております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	課題：小さいお子さんへの配慮がもう少しあってもよいかもしれない 改善点：現段階では、小さいお子さんが一人で歩きやすいように指導員が補助をいたします。環境整備についても今後、検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	今後もきめ細かい清掃を行い、活動がしやすい環境を整えていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	82%	9%	常に全員が参画はできませんが、常に意見が言いやすい場づくりをしております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	年に1回アンケートを実施し、いただいた意見をサービス向上につなげられるように努めております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%	教室内およびホームページで公開しております。 皆が内容把握をするよう周知徹底をしております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	-	-	第三者評価は実施しておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	全体研修、事業所内研修、課題図書の設定など、資質向上のための時間を確保しています。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	定期的な会議で情報共有を行い、計画の作成をしております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	91%	9%	標準化されたアセスメントツールを使用しております。また状況に応じてアセスメントを選択し、使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	91%	9%	支援に必要な項目を支援内容に設定しております。 スタッフ全員と情報の共有ができるよう職場づくりをしております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	指導時の内容を考える指針とし、実際の支援に反映させています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	91%	9%	指導に関わる全てのスタッフの意見を参考に作成しております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	・スタッフ間での情報共有や外部研修等に参加するなど固定化しないよう工夫しています。 ・複数の指導員で担当し、かつ子どもの状況に合わせて変化させています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	82%	18%	原則個別療育指導のため、集団活動を行うことはほとんどありませんが年に数回、小集団指導(希望者)を組む他に、子どもの様子に合わせて今後も適宜入れていきます。その場合は支援計画を別に設定しております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	82%	18%	意見:前回担当していた先生に子どもの様子等を確認します。 昼礼を導入しています。今後は皆で更に支援をしやすくなるよう確認作業に力を入れてまいります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	82%	18%	レッスン終了後、レッスン報告書記載後に、気になった点のみならず、振り返りをしてまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	報告書にて支援の振り返りと共有を行っています。特記事項については追加で口頭にて共有しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、その都度達成度の確認と内容の見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	日常のレッスンの情報を共有した上で児童発達支援管理責任者、児童指導員、専門職員が会議に参画しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	必要に応じて関係機関との情報共有を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との連携は文書を通して実施しております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	移行支援として、小学校の先生との連携は文書を通して実施しております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	73%	27%	必要に応じて専門機関との連携はとっておりますが、十分といえませんが今後積極的に連携をとっていきたいと考えております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	100%	現在交流の機会をほとんど持っておりませんが、今後前向きに検討してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	18%	82%	地域自立支援協議会子ども部会へは要望があった時のみ参加しております。事業所交流会、事業所説明会、茨木市事業所連絡会(コアメンバーの会)へは参加しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	ご利用ごとにLINEメッセージにて、具体的な支援内容や発達の状況を伝え、共通理解を持てるように努めております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0%	100%	個別対応になってしまいますが、お子様への対応方法についての支援を適宜行っております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	契約時に読み合わせを行い、疑問点が残らないように説明を行っております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	記載事項の内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	相談には随時受け付けております。相談内容にあった助言・支援を行うよう務めております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	100%	保護者同士の連携の支援は現在行っておりませんが、相互扶助の観点からも実施していきたいと考えております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	子どもや保護者に対して、相談や申し入れに対する対応体制があることを伝えております。相談は随時受け付けております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	27%	73%	会報の発行は行っておりませんが、HPやLINEメッセージを活用して活動についての情報発信を行っています。今後もっと発信していけるよう努めてまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	個人情報のファイルは鍵のついている棚に保管しております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	情報伝達のための伝え方のスキル向上や、必要に応じて電子機器等も利用しております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	36%	45%	地域に開かれた事業は積極的にはできておりません。今後前向きに検討してまいります。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	64%	18%
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	91%	9%	定期的に訓練を実施しております。スタッフ全員が必ず訓練に参加できるよう設定してまいります。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	施設利用開始時に確認をとっておりますが、随時確認作業もしております。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	-	-	食事の提供は行っておりません
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	書きやすくするよう報告書のフォルダへ設定しています。 昼礼・会議の中で、スタッフ間で共有しております。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	年2回以上、虐待についての認識を深められるように研修を行っています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	年2回以上、虐待についての認識を深められるように研修を行っています。